

' 09 IEN サマースクール日記

8月30日(日)に夏季特別プログラム「サマースクール」を実施しました。今回はバスで山梨県の清里高原まで出かけました。そのときの様子をお伝えします。

Let's go to Kiyosato! 天気は Sunny & Cloudy、今日も暑くなりそうですが、清里高原は…

黄色のバスが、お弁当やお菓子を入れたリュックを背負った、小学1年生から6年生までの生徒を乗せ、中央自動車道を清里へ、渋滞もなくスイスイ走っていきます。



生徒と話す外国人講師たち

初めて出会う先生が多く少し緊張気味でしたが、やさしく話しかけられると時間がたつにつれ、少しずつ今まで学んできた英語が自然に出てきて、楽しく会話ができるようになってきました。

What a beautiful lake! 途中の休憩は恵那峡SAと諏訪湖SA、バスを降りる際はTim先生の“Make a line.”の号令で列をつくり、団体行動を守っています。諏訪湖では外国人の先生も初めてみる湖の風景に“Wonderful!”と叫んでいます。生徒の中にも初めて諏訪湖を見る生徒も多く、早速記念撮影が始まりました。



諏訪湖サービスエリア

清里到着。時計を見るともうお昼「あ～あ、お腹がすいた。」

Let's have a lunch. 広い草原まで行き、朝早くからお母さんががんばって作ってくれたお弁当を広げ、みんなおいしそうに食べています。周り是一片草原が広がり気持ちいい～



真新しい黄色いお洒落なバス

Ten Foreign teachers 今回はなんと11カ国の外国人講師が参加しています。アメリカ・ホンジュラス・トルクメニスタン・ミャンマー・ロシア・ドミニカ・グアテマラ・ウズベキスタン・フィリピン・ペルー・スペイン これだけの先生が集められるのはIENスクールだけ。(ちょっと自慢)

Let's speak English 各講師は生徒たちと英語でコミュニケーション。バスの中では外国人の講師たちが補助席に座り、さっそく両側にいる生徒たちに積極的に英語で話しかけています。生徒たちは、初



Make a line

Let's sing English songs. サービスエリアに止まるたびに席が替わります、ウィンドウシート(窓側)とアイルシート(通路側)も覚えました。講師も移動していろいろな生徒と会話を続けます。今度は英語の歌のレッスンが始まりました。“Row your boat” “BINGO song” ワンフレーズごと、大きな声で前の席から後ろの席へと順に歌っていきます。「後ろの席、声が小さいよ、もっと大きな声で…」

八ヶ岳大橋を渡り神秘的な大溪谷を見ながら目的地の



Lunch Time

今日のメインプログラムは「フィールドアドベンチャー」です。まず meeting room でレンジャーから森の中で何をするのかについて話を聞きました。説明を聞いた後はいよいよ自然の森を目指して出発です。

Let's go into the forest ! コースの道筋には特別に準備してもらった英語の標識があり、これをまず見つけて、さらに英文で書いてある内容をクリアしなければなりません。キノコを見つけ 自然の色を探し 新芽の味を知り 「ヤッホー」と叫び 湧き水に手をつけ モグラの穴を見つけ 樹の太さを測り 森の音を聞き 葉のにおいをかぐ など合わせて13の課題が出されました。そして各課題をクリアしながら森の中を進んでいきます。みんな始めて体験することが多く大興奮。それにしても森の中はなんと涼しい…

全員がゴールすると今日集めた課題を見ながらレンジャーから自然についての話を聞きました。



レンジャーのクマさんが説明



いざ森へ



③ポイント



⑤ポイント 雲がなければバックに富士山が…



⑥ポイント 冷たい～



⑫もうすぐゴール



みんなの集めた森の自然がいっぱいです



やっぱりアイスが最高

Enjoy Softcream 森の中では予定より時間がかかってしまいました。「ソフトクリームを食べたいよ～」。生徒達が大合唱、早速お店まで移動、生徒も先生達も舌つづみ。ちょっと待った How do you say ソフトクリーム in English… 正解は？

帰りは渋滞が心配、予定より遅れるかも。でもその分またバスの中で英会話を楽しめる… ちょっとお腹がすいたら手作りのパンも持っているから大丈夫…

参加した生徒は多くの外国人とまる一日を一緒に過ごし、普段の授業の何倍も英語を使う機会ができました。実践での英会話は、きっと一ヶ月分の授業を受けた以上の効果があり、自信にもなったはずです。



夏休みはいろいろ日程の都合もあって、参加しにくいかもしれませんが、お子さんの英語教育を考えれば、こんな良い機会はないと思います。来年はもっと多くの参加を待っています。

IENT スタッフ一同